



平成24年8月10日

各位

株式会社T&Dホールディングス
 (コード番号 8795 東証・大証第一部)
 太陽生命保険株式会社
 大同生命保険株式会社
 T&Dフィナンシャル生命保険株式会社

平成25年3月期第1四半期決算のお知らせ

T&D保険グループ（T&Dホールディングス、太陽生命、大同生命、T&Dフィナンシャル生命）の平成25年3月期第1四半期（平成24年4月1日～平成24年6月30日）の決算について、以下のとおりお知らせいたします。

契約業績（生命保険会社3社合算：個人保険・個人年金保険）

- 新契約高は、1兆9,457億円、前年同期から12.7%の増加。
- 解約失効高は、1兆421億円、前年同期から3.6%の減少。
- 保有契約高は、5兆7,897億円、前年度末から0.6%の増加。

損益関係（T&Dホールディングス連結）

- 経常収益は、7,031億円、前年同期から20.9%の増加。
 うち保険料等収入は、5,996億円、前年同期から56.0%の増加。
- 経常利益は、300億円、前年同期から4.0%の増加。
- 四半期純利益は、92億円、前年同期から10.0%の減少。

通期業績予想

- 通期業績予想の修正はありません。

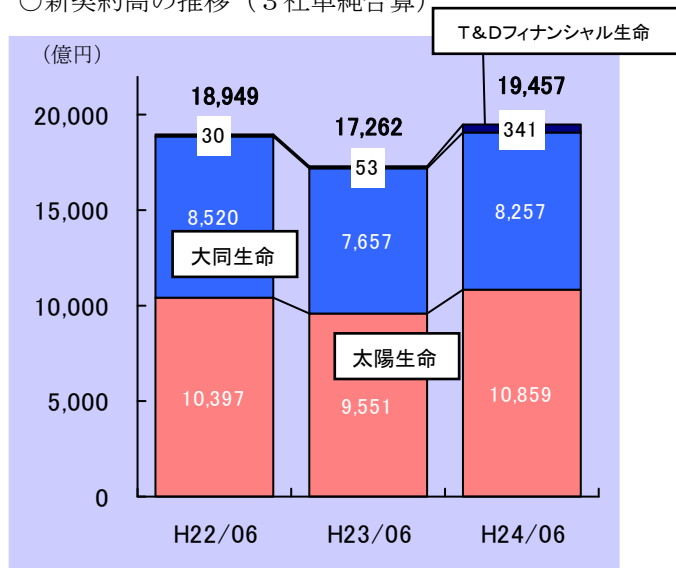
以上

【お問合せ先】

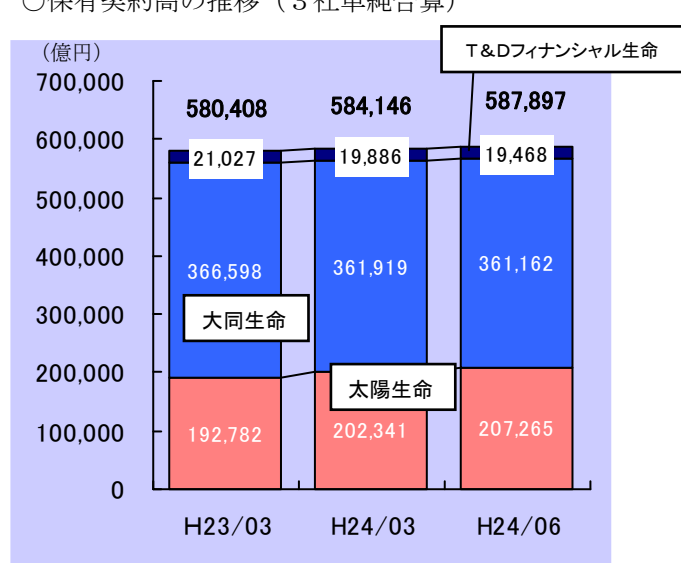
株式会社T&Dホールディングス	広報部	今井・松尾	TEL 03-3434-9181
太陽生命保険株式会社	広報課	家徳	TEL 03-3434-5257
大同生命保険株式会社	広報課	西岡	TEL 03-3434-9190
T&Dフィナンシャル生命保険株式会社	広報課	進藤	TEL 03-3434-8840

[契約業績（個人保険・個人年金保険）]

○新契約高の推移（3社単純合算）



○保有契約高の推移（3社単純合算）



(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第1四半期累計	前年同期比	当第1四半期累計	前年同期比	当第1四半期累計	前年同期比	当第1四半期累計	前年同期比
新契約高	19,457	2,194 増 (12.7%増)	10,859	1,307 増 (13.7%増)	8,257	599 増 (7.8%増)	341	287 増 (536.4%増)
解約失効高 (解約失効率)	10,421	383 減 (3.6%減)	3,285	218 増 (7.1%増)	6,922	610 減 (8.1%減)	214	7 増 (3.8%増)
新契約年換算保険料	510	249 増 (95.3%増)	313	193 増 (160.9%増)	171	33 増 (24.1%増)	25	22 増 (748.8%増)
うち医療保障・ 生前給付保障等	36	0 増 (0.8%増)	17	3 減 (15.2%減)	18	3 増 (22.7%増)	—	— (—)

(注) 1. 新契約高には転換による純増加高を含んでおります。
2. 解約失効率は、年換算しておりません。

(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第1四半期末	前年度末比	当第1四半期末	前年度末比	当第1四半期末	前年度末比	当第1四半期末	前年度末比
保有契約高	587,897	3,750 増 (0.6%増)	207,265	4,924 増 (2.4%増)	361,162	756 減 (0.2%減)	19,468	417 減 (2.1%減)
保有契約年換算保険料	14,226	205 増 (1.5%増)	6,247	177 増 (2.9%増)	6,257	22 増 (0.4%増)	1,721	5 増 (0.3%増)
うち医療保障・ 生前給付保障等	1,602	0 減 (0.2%減)	1,035	8 減 (0.8%減)	526	7 増 (1.4%増)	39	1 減 (3.1%減)

■ 3社単純合算

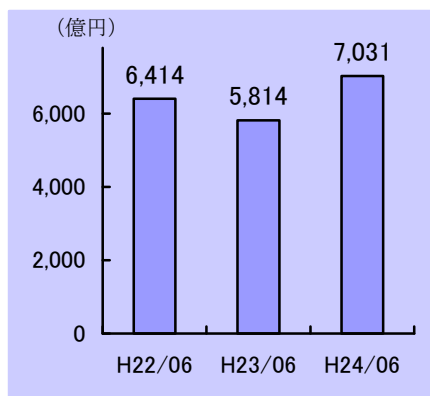
- ・新契約高は、1兆9,457億円、前年同期から12.7%の増加。
新契約高は、3社ともに増加した。
- ・解約失効高は、1兆4,211億円、前年同期から3.6%の減少。
これは主に、大同生命で減少したため。
- ・保有契約高は、5兆8,789億円、前年度末から0.6%の増加。
これは主に、太陽生命で増加したため。

■ 各社の状況

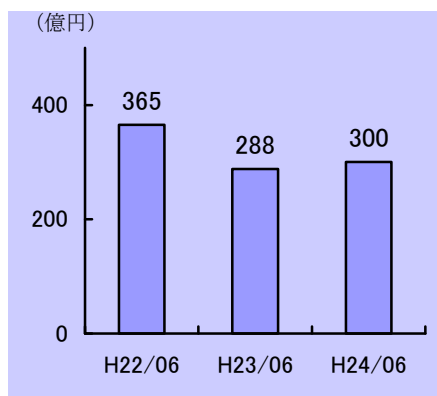
- ・太陽生命の新契約高は、1兆8,599億円、前年同期から13.7%の増加。
また、保有契約高は、2兆0,765億円、前年度末から2.4%の増加。
- ・大同生命の新契約高は、8,257億円、前年同期から7.8%の増加。
なお、主力商品の一つである「Jタイプ（無配当重大疾病保障保険）」の重大疾病保険金額808億円を加算した金額でみた場合、9,065億円、前年同期から9.8%の増加。また、同じ基準でみた保有契約高は、3兆6,558億円となり、前年度末（3兆6,557億円）から増加。
※ 「Jタイプ」には普通死亡の保障がないため、新契約高・保有契約高には計上していません。
- ・T&Dフィナンシャル生命の新契約高は、341億円、前年同期から536.4%の増加。
これは主に、「生涯プレミアム・ジャパン（定額終身保険）」の販売による。

[損益関係]

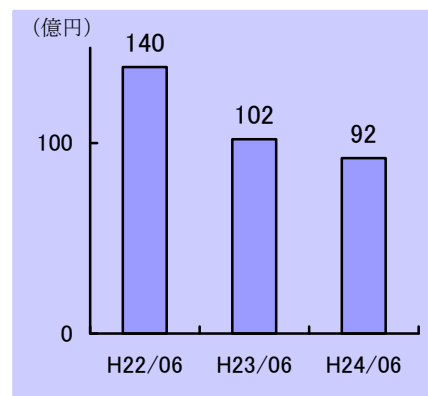
○経常収益（連結）



○経常利益（連結）



○四半期純利益（連結）



(単位：億円)

	T&Dホールディングス連結		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第1四半期累計	前年同期比	当第1四半期累計	前年同期比	当第1四半期累計	前年同期比	当第1四半期累計	前年同期比
経常収益	7,031	1,216 増 (20.9%増)	4,123	1,455 増 (54.5%増)	2,369	419 減 (15.0%減)	555	241 増 (76.9%増)
うち保険料等収入	5,996	2,153 増 (56.0%増)	3,616	1,601 増 (79.5%増)	2,005	270 増 (15.6%増)	372	281 増 (308.0%増)
うち資産運用収益	834	122 増 (17.2%増)	467	58 増 (14.4%増)	307	5 減 (1.9%減)	108	96 増 (794.0%増)
うちその他経常収益	199	1,059 減 (84.1%減)	39	205 減 (83.9%減)	57	683 減 (92.2%減)	74	136 減 (64.7%減)
うち責任準備金戻入額	—	985 減 (100.0%減)	—	175 減 (100.0%減)	—	636 減 (100.0%減)	28	145 減 (83.7%減)
経常費用	6,730	1,205 増 (21.8%増)	3,936	1,396 増 (55.0%増)	2,216	394 減 (15.1%減)	594	259 増 (77.5%増)
うち保険金等支払金	3,601	1,000 減 (21.7%減)	1,884	230 減 (10.9%減)	1,440	763 減 (34.7%減)	275	7 減 (2.6%減)
うち責任準備金繰入額	1,876	1,876 増 (—)	1,554	1,554 増 (—)	349	349 増 (—)	—	— (—)
うち資産運用費用	477	254 増 (114.0%増)	97	3 減 (3.4%減)	137	28 増 (26.4%増)	285	256 増 (904.7%増)
経常利益（△損失）	300	11 増 (4.0%増)	186	58 増 (45.8%増)	153	24 減 (13.9%減)	△39	18 減 (85.5%増)
特別利益	0	0 増 (2,521.9%増)	0	0 増 (—)	0	0 増 (—)	—	— (—)
特別損失	56	15 減 (21.7%減)	36	0 増 (1.0%増)	19	16 減 (45.3%減)	0	0 増 (64.2%増)
契約者配当準備金繰入額 （△戻入額）	71	0 減 (1.0%減)	39	0 減 (0.2%減)	32	0 減 (2.1%減)	△0	0 増 (44.3%減)
税引前四半期純利益 （損失△）	172	28 増 (19.6%増)	110	58 増 (113.0%増)	102	7 減 (7.0%減)	△39	18 減 (85.6%増)
法人税等合計	79	38 増 (93.9%増)	39	44 増 (—)	48	0 減 (1.7%減)	△10	4 減 (65.4%増)
四半期純利益（△損失）	92	10 減 (10.0%減)	70	13 増 (24.7%増)	53	6 減 (11.3%減)	△29	14 減 (94.2%増)

(参考)

資産運用関係収支 （一般勘定）	648	135 増 (26.5%増)	370	62 増 (20.3%増)	180	25 減 (12.2%減)	104	97 増 (1,477.2%増)
--------------------	-----	-------------------	-----	------------------	-----	------------------	-----	---------------------

- (注) 1. T&Dホールディングス連結の数値については、生命保険会社3社の単純合算とは必ずしも一致いたしません。
 2. 保険料等収入の3社単純合算は5,994億円（前年比56.1%増）です。
 3. 資産運用関係収支（一般勘定）は、一般勘定に関する資産運用収益から一般勘定に関する資産運用費用を差し引いたものです。

■ T&Dホールディングス連結

- ・ **経常収益**は、7,031億円、前年同期から1,216億円の増加。
これは主に、太陽生命の保険料等収入の増加による。
- ・ **経常利益**は、300億円、前年同期から11億円の増加。
これは主に、太陽生命で増加したことによる。
- ・ **四半期純利益**は、92億円、前年同期から10億円の減少。

■ 太陽生命の状況

- ・ **経常収益**は、4,123億円、前年同期から54.5%の増加。
- ・ **保険料等収入**は、3,616億円、前年同期から79.5%の増加。
これは主に、個人保険・個人年金などの収入保険料が増加したことによる。
- ・ **経常利益**は、186億円、前年同期から45.8%の増加。
これは主に、有価証券売却損益の増加による。
- ・ **四半期純利益**は、70億円、前年同期から24.7%の増加。

■ 大同生命の状況

- ・ **経常収益**は、2,369億円、前年同期から15.0%の減少。
- ・ **保険料等収入**は、2,005億円、前年同期から15.6%の増加。
これは主に、個人保険の収入保険料が増加したことによる。
- ・ **経常利益**は、153億円、前年同期から13.9%の減少。
これは主に、資産運用関係収支(一般勘定)の減少による。
- ・ **四半期純利益**は、53億円、前年同期から11.3%の減少。

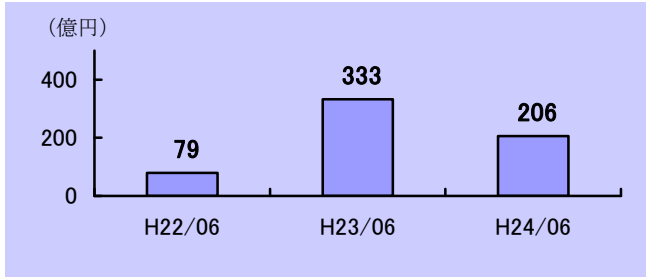
■ T&Dフィナンシャル生命の状況

- ・ **経常収益**は、555億円、前年同期から76.9%の増加。
- ・ **保険料等収入**は、372億円、前年同期から308.0%の増加。
これは主に、新契約高の増加による。
- ・ **経常利益(△損失)**は、△39億円、前年同期から85.5%の悪化。
これは主に、金利の低迷や相場変動に伴い変額個人年金保険の最低保証収支が悪化したため。
- ・ **四半期純利益(△損失)**は、△29億円、前年同期から94.2%の悪化。

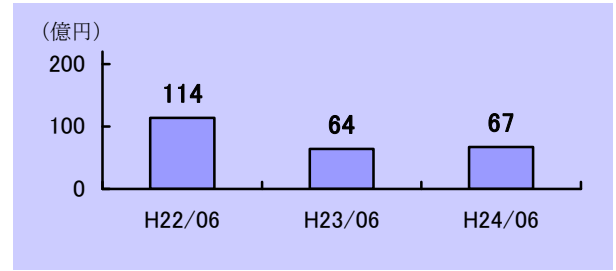
【その他の指標等】

<基礎利益と逆ざや>

○基礎利益（3社単純合算）



○逆ざや額（3社単純合算）



(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第1四半期末	前年同期比	当第1四半期末	前年同期比	当第1四半期末	前年同期比	当第1四半期末	前年同期比
基礎利益	206	126 減 (38.1%減)	130	11 減 (8.3%減)	193	1 増 (0.6%増)	△116	116 減 (約197倍)
逆ざや額	67	2 増	28	7 増	32	3 減	6	0 減

■ 3社単純合算

- ・ **基礎利益**は、206億円、前年同期から126億円の減少。
これは主に、T&Dフィナンシャル生命で減少したことによる。

■ 各社の状況

- ・ **太陽生命の基礎利益**は、130億円、前年同期から11億円の減少。
これは主に、前年同期は東日本大震災に係る支払備金の戻入が発生したこと等による。
逆ざや額は、28億円、前年同期から7億円の増加。
これは主に、基礎利益上の運用収支が減少したこと等による。
- ・ **大同生命の基礎利益**は、193億円、前年同期から1億円の増加。
逆ざや額は、32億円、前年同期から3億円の減少。
- ・ **T&Dフィナンシャル生命の基礎利益**は、△116億円、前年同期から116億円の悪化。
これは主に、相場変動に伴い変額個人年金保険の最低保証責任準備金が増加したことによる。
逆ざや額は、6億円、前年同期並み。

<ソルベンシー・マージン比率>

(単位：ポイント)

	T&Dホールディングス		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第1四半期末	前年度末増減	当第1四半期末	前年度末増減	当第1四半期末	前年度末増減	当第1四半期末	前年度末増減
ソルベンシー・マージン比率	—	—	710.3%	37.0 低下	879.0%	27.1 上昇	513.8%	39.9 低下
連結ソルベンシー・マージン比率	803.5%	7.1 低下	721.1%	37.9 低下	885.6%	27.3 上昇	—	—

(注) T&Dフィナンシャル生命は、子会社等がないため、連結ソルベンシー・マージン比率を表示していません。

■ T&Dホールディングス連結

- ・ **連結ソルベンシー・マージン比率**は、803.5%、前年度末から7.1ポイント低下。
これは主に、その他有価証券の評価差額の減少等連結ソルベンシー・マージン総額の減少による。

■ 各社の状況

- ・ **太陽生命のソルベンシー・マージン比率**は、710.3%、前年度末から37.0ポイント低下。
これは主に、その他有価証券の評価差額の減少等に伴うソルベンシー・マージン総額の減少による。
- ・ **大同生命のソルベンシー・マージン比率**は、879.0%、前年度末から27.1ポイント上昇。
これは主に、四半期純利益および価格変動準備金の増加等に伴うソルベンシー・マージン総額の増加および資産運用リスクの減少による。
- ・ **T&Dフィナンシャル生命のソルベンシー・マージン比率**は、513.8%、前年度末から39.9ポイント低下。
これは主に、相場変動に伴うソルベンシー・マージン総額の減少による。

<実質純資産（3社単純合算）>

(単位：億円)

	T&Dホールディングス（連結）		太陽生命（単体）		大同生命（単体）		T&Dフィナンシャル生命（単体）	
	当第1四半期末	前年度末増減	当第1四半期末	前年度末増減	当第1四半期末	前年度末増減	当第1四半期末	前年度末増減
実質純資産	13,908	130 増	5,787	11 増	6,820	123 増	959	1 減

(注) E E V計算上の修正純資産は、グループが10,463億円（前年度末比97億円増）、太陽生命が4,815億円（同14億円増）、大同生命が4,988億円（同84億円増）、T&Dフィナンシャル生命が659億円（同1億円減）です。

■ T&Dホールディングス連結

- ・ **連結実質純資産**は1兆3,908億円、前年度末から130億円の増加。
これは主に、有価証券の差損益の増加による。

■ 各社の状況

- ・ **太陽生命の実質純資産**は、5,787億円、前年度末から11億円の増加。
これは主に、価格変動準備金の繰り入れによる。
- ・ **大同生命の実質純資産**は、6,820億円、前年度末から123億円の増加。
これは主に、有価証券の差損益の増加による。
- ・ **T&Dフィナンシャル生命の実質純資産**は、959億円、前年度末から1億円の減少。

<有価証券差損益（一般勘定）>

(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第1四半期末	前年度末増減	当第1四半期末	前年度末増減	当第1四半期末	前年度末増減	当第1四半期末	前年度末増減
有価証券の差損益 (一般勘定)	4,035	171 増	2,515	18 増	1,385	128 増	135	24 増
うち公社債	2,814	509 増	1,611	247 増	1,068	237 増	135	24 増
うち株式	604	376 減	322	326 減	282	49 減	—	—
うち外国証券	578	120 増	516	103 増	62	16 増	—	—
うちその他の証券	△120	106 減	△12	18 減	△107	88 減	—	—
うち金銭の信託	△4	2 減	—	—	△4	2 減	—	—
うち買入金銭債権	162	26 増	77	12 増	85	13 増	—	—
土地等の差損益	164	0 増	△6	0 増	171	0 減	—	—

(注) 1. 有価証券差損益については、有価証券のうち時価のあるものを記載しております。
2. 土地等の差損益については、原則として鑑定評価額（重要性の低い物件等については公示価格等）をもとに算出しております。

[平成25年3月期通期業績予想]

○T&Dホールディングス連結

平成25年3月期の通期業績予想は次のとおりです。(平成24年5月15日公表分から変更ありません。)
(単位：億円)

	平成24年3月期実績	平成25年3月期予想	増減
経常収益	21,041	21,100	58 増 (0.3%増)
経常利益	1,208	1,140	68 減 (5.7%減)
当期純利益	267	360	92 増 (34.5%増)

1株当たり年間配当金予想は22.5円です。

なお、上記の前提となる生命保険会社3社(単体)の平成25年3月期の通期業績予想は次のとおりです。

(単位：億円)

	太陽生命	大同生命	T&Dフィナンシャル生命
経常収益	11,000 (217 減) (1.9%減)	8,400 (945 減) (10.1%減)	1,900 (703 増) (58.8%増)
経常利益(△損失)	600 (6 減) (1.2%減)	530 (78 減) (12.9%減)	0 (23 増) (-)
当期純利益(△損失)	180 (68 増) (62.1%増)	190 (0 増) (0.2%増)	△10 (26 増) (72.7%減)

(注) 括弧内は平成24年3月期からの増減額・率です。

※実際の業績は、今後様々な要因によって、上記業績予想と大きく異なることがあります。

以 上

(参考) 生命保険会社3社の平成25年3月期通期見通し

平成24年5月15日公表分から変更ありません。

(単位：億円)

	3社単純合算	太陽生命	大同生命	T&Dフィナンシャル生命
基礎利益	1,280 (169 減) (11.7%減)	550 (25 減) (4.5%減)	650 (174 減) (21.2%減)	80 (31 増) (64.4%増)
保険料等収入	17,800 (896 増) (5.3%増)	9,000 (34 減) (0.4%減)	7,200 (2 減) (0.0%減)	1,600 (933 増) (139.9%増)
逆ざや額	130 (72 減) (35.9%減)	60 (5 減) (8.1%減)	50 (60 減) (54.6%減)	20 (7 減) (26.7%減)
新契約高	66,800 (3,303 増) (5.2%増)	31,300 (2,180 増) (7.5%増)	34,000 (145 増) (0.4%増)	1,500 (977 増) (187.3%増)
保有契約高	588,600 (4,453 増) (0.8%増)	212,000 (9,658 増) (4.8%増)	357,600 (4,319 減) (1.2%減)	19,000 (886 減) (4.5%減)
解約失効率 (%)		6.3 (-)	8.1 (0.1ポイント上昇)	3.8 (0.6ポイント低下)

(注) 1. 括弧内は平成24年3月期からの増減額・率です。

2. 新契約高、保有契約高および解約失効率は、個人保険と個人年金保険の合計です。

また、新契約高には転換による純増加高を含みます。

3. 大同生命に関して、「無配当重大疾病保障保険（Jタイプ）」の重大疾病保険金額を加算した契約高の金額は、次の見通しです。（「Jタイプ」には普通死亡の保障がないため、上記の契約高には計上していません。）

新契約高 : 3兆7,400億円

保有契約高 : 36兆4,500億円

※実際の業績は、今後様々な要因によって、上記見通しと大きく異なることがあります。

以 上